

# 医療法人社団大日会（介護予防）通所介護事業所

## 陽なたリハビリデイサービス運営規程

### （事業の目的）

第1条 医療法人大日会が開設する陽なたリハビリデイサービス（以下「事業所」という。）が行う指定通所介護及び指定介護予防通所介護（以下「指定通所介護等」という。）、第一号通所事業の事業（以下「事業」という。）の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所ごとに置くべき従事者（以下「通所介護従事者」という。）が、要介護状態又は要支援状態にある高齢者に対し適正な指定通所介護等を提供することを目的とする。

### （運営の方針）

第2条 1 事業所の通所介護従事者は、要介護者等の心身の特徴を踏まえて、利用者が可能な限りその居宅において、その有する能力に応じ自立した日常生活を営むことができるよう、さらに利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに家族の身体的・精神的負担の軽減を図るために、必要な日常生活上の世話および機能訓練等の介護、その他必要な援助を行う。

2 事業の実施にあたっては、関係区市町村、地域包括支援センター、近隣の他の保健・医療又は福祉サービスを提供する者との密接な連携を保ち、総合的なサービスの提供に努める。

### （事業所の名称等）

第3条 事業を行う事業所の名称及び所在地は、次のとおりとする。

- 1 名称 医療法人社団大日会 通所介護事業所 陽なたリハビリデイサービス
- 2 所在地 住所〒184-0004 東京都小金井市本町六丁目7番6号

### （職員の職種、員数及び職務内容）

第4条 事業所に勤務する職種、員数及び職務内容は次のとおりとし、各職員の員数は別紙のとおりとする。

- 1 管理者 1名（機能訓練指導員と兼務）  
管理者は、事業所の従業者の管理及び業務の管理を一元的に行う。
- 2 通所介護従事者  
生活相談員 1名以上  
介護職員 1名以上  
看護職員 1名以上  
} うち常勤1名以上

通所介護従事者は、指定通所介護等の業務にあたる。

生活相談員は、指定通所介護等の利用申込にかかる調整、通所介護計画又は介護予防通所介護計画（以下「通所介護計画等」という。）の作成等を行う。また、利用者に対し日常生活上の介護その他必要な業務の提供にあたる。

介護職員、看護職員は利用者の心身の状況等を的確に把握し、必要な日常生活上の介護や健康管理、その他必要な業務の提供にあたる。

- 3 機能訓練指導員 2名  
機能訓練指導員は、日常生活を営むのに必要な機能の減退を防止するための訓練指導、助言を行う。

### （営業日及び営業時間）

第5条 事業所の営業日及び営業時間は、次のとおりとする。

- 1 営業日 月曜日から金曜日  
ただし、祝日及び12月29日から1月3日までを除く。
- 2 営業時間 午前8時30分から午後5時30分

### （利用定員）

第6条 事業所の利用者の定員は、下記のとおりとする。

- 1 単位目 サービス提供時間帯 午前9時00分から午前12時15分 定員 15人

2 単位目	サービス提供時間帯	午前 9 時 00 分から午前 12 時 15 分	定員 5 人
3 単位目	サービス提供時間帯	午前 9 時 00 分から午前 12 時 15 分	定員 5 人
4 単位目	サービス提供時間帯	午後 1 時 45 分から午後 5 時 00 分	定員 15 人
5 単位目	サービス提供時間帯	午後 1 時 45 分から午後 5 時 00 分	定員 5 人
6 単位目	サービス提供時間帯	午後 1 時 45 分から午後 5 時 00 分	定員 5 人

(指定通所介護等の提供方法、内容)

第 7 条 指定通所介護等の内容は、居宅サービス計画又は介護予防サービス計画（以下「居宅サービス計画等」等）に基づいてサービスを行うものとする。ただし、緊急を要する場合にあっては、居宅サービス計画等の作成前であってもサービスを利用できるものとし、次に掲げるサービスから利用者が選定したサービスを提供する。

- 1 身体介護に関すること  
日常生活動作能力の程度により、必要な支援及びサービスを提供する。  
排泄の介助、移動・移乗の介助、養護、その他必要な身体の介護
- 2 入浴に関すること  
家庭において入浴することが困難な利用者に対して、必要な入浴サービスを提供する。  
衣類着脱の介護、身体の清拭、整髪、洗身、その他必要な入浴の介助
- 3 機能訓練に関すること  
体力や機能の低下を防ぐために必要な訓練及び日常生活に必要な基本的動作を獲得するための訓練を行う。
- 4 口腔ケアに関すること  
口腔機能の向上を目的とし、口腔清掃、摂食・嚥下機能に関する指導若しくはサービスの提供を行う。
- 5 アクティビティ・サービスに関すること  
利用者が、生きがいのある快適で豊かな日常生活を送ることができるよう、アクティビティ・サービスを実施する。これらの活動を通じて仲間づくり、老いや障害の受容、心身機能の維持・向上、自信の回復や情緒安定を図る。  
例) レクリエーション、音楽活動、制作活動、行事的活動、体操
- 6 送迎に関すること  
送迎を必要とする利用者に対し送迎サービスを提供する。送迎車両には通所介護従事者が添乗し必要な介護を行う。
- 7 相談・助言に関すること  
利用者及びその家族の日常生活における介護等に関する相談および助言を行う。

(指定居宅介護支援事業者との連携等)

- 第 8 条
- 1 指定通所介護等の提供にあたっては、利用者にかかる指定居宅介護支援事業者又は指定介護予防支援事業者（以下「指定居宅介護支援事業者等」という。）が開催するサービス担当者会議等を通じて、利用者の心身の状況、そのおかれている環境、他の保健・医療・福祉サービスの利用状況等の把握に努める。
  - 2 利用者の生活状況の変化、サービス利用方法・内容の変更希望があった場合、当該利用者担当の指定居宅介護支援事業者等に連絡するとともに、綿密な連携に努める。
  - 3 正当な理由なく指定通所介護等の提供を拒まない。ただし、通常の事業実施地域等を勘案し、利用希望者に対して通所介護又は介護予防通所介護（以下「通所介護等」という。）の提供が困難と認めた場合、当該利用者にかかる指定居宅介護支援事業者等と連携し、必要な措置を講ずる。

(個別援助計画の作成等)

- 第 9 条
- 1 指定通所介護等の提供を開始する際には、利用者の心身の状況、希望及びそのおかれている状況並びに家族等介護者の状況を十分把握し、援助計画を作成する。また、すでに居宅サービス計画等が作成されている場合は、その内容にそった通所介護計画を作成する
  - 2 通所介護計画等の作成・変更の際には、利用者又は家族に対し、当該計画の内容を説明し、同意を得る。

- 3 利用者に対し、通所介護計画等に基づいて各種サービスを提供するとともに、継続的なサービスの管理、評価を行う。

(指定通所介護等の提供記録の記載)

第10条 通所介護従事者は、指定通所介護等を提供した際には、その提供日・内容、当該指定通所介護等について、介護保険法第41条第6項または法第53条第4項の規程により、利用者にかわって支払いを受ける保険給付の額、その他必要な記録を利用者が所持するサービス提供記録書に記載する。

(指定通所介護等の利用料等及び支払いの方法)

- 第11条 1 指定通所介護等を提供した場合の利用料の額は、別紙料金表によるものとし、当該指定通所介護等が法定代理受領サービスである時は、その額の1割とする。
- 2 第12条の通常の事業実施地域を越えて行う送迎の交通費、指定通所介護に通常要する時間を越えて指定通所介護を提供する場合の利用料、食材料費、おむつ代、アクティビティサービスにかかる諸経費については、別紙に掲げる費用を徴収する。
- 3 第1項及び第2項の費用の支払いを受ける場合には、利用者またはその家族に対して事前に文書で説明した上で、支払いに関する同意を得る。
- 4 指定通所介護等の利用者は、当センターの定める期日に、別途契約書で指定する方法により納入することとする。

(通常の事業の実施地域)

第12条 通常の事業の実施地域は、小金井市とする。

(契約書の作成)

第13条 通所介護等の提供を開始するにあたって、本規程に沿った事業内容の詳細について、利用者には契約書の書面をもって説明し、同意を得た上で署名(記名押印)を受けることとする。

(緊急時等における対応方法)

- 第14条 1 通所介護従事者等は、指定通所介護等を実施中に利用者の病状等に急変、その他緊急事態が生じたときは、速やかに主治医に連絡する等の措置を講ずるとともに、管理者に報告しなければならない。
- 2 指定通所介護等を実施中に天災その他の災害が発生した場合、利用者の避難等の措置を講ずるほか、管理者に連絡の上その指示に従うものとする。

(非常災害対策)

第15条 事業所は、非常災害に備えるため、消防計画を作成し避難訓練等を次のとおり行うとともに必要な設備を備える。

防火責任者	管理者
防災訓練	年1回
避難訓練	年1回
通報訓練	年1回

(衛生管理及び従事者等の健康管理等)

- 第16条 1 通所介護等に使用する備品等は清潔に保持し、定期的な消毒を施すなど常に衛生管理に十分留意するものとする。
- 2 通所介護従事者に対し感染症等に関する基礎知識の習得に努めるとともに、年1回以上の健康診断を受診させるものとする。

(サービス利用にあたっての留意事項)

第17条 利用者が入浴室及び機能訓練室等を利用する場合は、職員立会いのもとで使用すること。また、体調が思わしくない利用者にはその旨を説明し安全指導を図る。

(相談・苦情対応)

- 第18条 1 事業所は、利用者からの相談、苦情等に対する窓口を設置し、指定居宅サービス等に関する利用者の要望、苦情等に対し、迅速に対応する。
- 2 事業所は、前項の苦情の内容等について記録し、その完結の日から2年間保存する。

(事故処理)

- 第19条 1 事業所は、サービス提供に際し、利用者に事故が発生した場合には、速やかに区市町村、介護支援専門員、利用者の家族等に連絡を行うとともに、必要な措置を講じる。
- 2 事業所は、前項の事故の状況及び事故に際して採った処置について記録し、その完結の日から2年間保存する。
- 3 事業所は、利用者に賠償すべき事故が発生した場合には、損害賠償を速やかに行う。

(その他運営についての留意事項)

- 第20条 1 従事者の質的向上を図るため、研修の機会を次のとおり設けるものとし、業務体制を整備する。
- 一 採用時研修 採用後2か月以内
  - 二 継続研修 年2回以上
- 2 事業者は、業務上知り得た利用者またはその家族の秘密を保持する。また、従事者であった者に、業務上知り得た利用者またはその家族の秘密を保持するため、従事者でなくなった後においてもこれらの秘密を保持すべき旨を雇用契約の内容に明記する。
- 3 事業所は、この事業を行うため、ケース記録、利用決定調書、利用者負担金徴収簿、その他必要な帳簿を整備する。
- 4 この規程の定める事項のほか、運営に関する重要事項は、医療法人大日会と陽なたリハビリデイサービスの管理者との協議に基づき定めるものとする。
- 5 事業所は、利用者本人及びそのご家族より情報提供の申し出を受けた場合、速やかにその内容を開示するものとする。

第21条 事業所は、虐待の発生又はその再発を防止するため、次の各号に掲げる措置を講じるものとする。

- 1 事業所における虐待の防止のための対策を検討する委員会（テレビ電話装置等を活用して行うことができるものとする。）を定期的に開催するとともに、その結果について、従業者に周知徹底を図ること。
  - 2 事業所における虐待の防止のための指針を整備すること。
  - 3 事業所において、従業者に対し虐待の防止のための研修を定期的に（年1回以上）実施すること。
- 四 前三号に掲げる措置を適切に実施するための担当者を置くこと。

附 則

この規程は、平成 27年 2月 1日から施行する。

平成 26年 12月 1日

医療法人社団大日会 通所介護事業所 陽なたリハビリデイサービス 管理者 柳堀明久

平成 29年 4月 1日

医療法人社団大日会 通所介護事業所 陽なたリハビリデイサービス 管理者 椛島裕二

令和 5年 12月 1日 改定

(1) 通所介護の利用料

【基本部分：通所介護費（通常型）】

時間区分	介護度	単位数	介護報酬	利用者負担金		
				1割	2割	3割
3時間以上 4時間未満 (1日あたり)	要介護1	364 単位/日	3,888 円	389 円	778 円	1,167 円
	要介護2	417 単位/日	4,454 円	445 円	890 円	1,335 円
	要介護3	472 単位/日	5,041 円	504 円	1,008 円	1,512 円
	要介護4	525 単位/日	5,607 円	561 円	1,122 円	1,683 円
	要介護5	579 単位/日	6,184 円	618 円	1,236 円	1,854 円

(注1) 上記の基本利用料は、厚生労働大臣が告示で定める金額であり、これが改定された場合は、これら基本利用料も自動的に改訂されます。なお、その場合は、事前に新しい基本利用料を書面でお知らせします。

(注2) 上記本文にも記載のとおり、介護保険給付の支給限度額を超えてサービスを利用する場合は、超えた額の全額をご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

【加算】

以下の要件を満たす場合、上記の基本部分に以下の料金が加算されます。

加算項目	単位数	加算料金	利用者負担額			算定単位
			1割	2割	3割	
通所介護入浴介助加算	50 単位	534 円	54 円	108 円	162 円	1日につき
通所介護個別機能訓練加算Ⅰ	46 単位	491 円	50 円	100 円	150 円	1日につき
通所介護個別機能訓練加算Ⅱ	56 単位	598 円	60 円	120 円	180 円	1日につき
通所介護サービス提供体制加算Ⅰ	18 単位	192 円	20 円	40 円	60 円	1回につき
通所介護生活機能連携向上加算Ⅱ	100 単位	1,068 円	106 円	212 円	318 円	1月につき

加算の種類	加算の要件（概要）
個別機能訓練加算	利用者の生活機能向上を目的とする機能訓練の項目を準備し実施した場合（1日につき）
入浴介助（個浴）	入浴中の利用者の観察を含む介助を行う場合（1日につき）
サービス提供体制加算Ⅰ	介護職員のうち介護福祉士が50%以上配置されていること
介護職員処遇改善加算Ⅰ	1ヶ月利用料金の5.9%が加算されます

【合計料金】

要介護1（1割/2割/3割）：519 円 / 1,038 円 / 1,557 円  
 要介護2（1割/2割/3割）：575 円 / 1,150 円 / 1,725 円  
 要介護3（1割/2割/3割）：634 円 / 1,268 円 / 1,902 円  
 要介護4（1割/2割/3割）：691 円 / 1,382 円 / 2,073 円  
 要介護5（1割/2割/3割）：748 円 / 1,496 円 / 2,244 円

(2) 介護予防・日常生活支援総合事業（現行相当サービス）の利用料

【基本部分：現行相当サービス】

基本部分	単位数	介護報酬	利用者負担金			算定単位
			1割	2割	3割	
要支援1	1,655 単位	17,675 円	1,768 円	3,536 円	5,304 円	1月につき
要支援2	3,393 単位	36,237 円	3,624 円	7,248 円	10,872 円	

(注1) 上記の基本利用料は、厚生労働大臣が告示で定める金額であり、これが改定された場合は、これら基本利用料も自動的に改訂されます。なお、その場合は、事前に新しい基本利用料を書面でお知らせします。

(注2) 上記本文にも記載のとおり、介護保険給付の支給限度額を超えてサービス利用する場合は、超えた額の全額をご負担いただくこととなりますのでご注意ください。

【加算】

以下の要件を満たす場合、上記の基本部分に以下の料金が加算されます。

加算項目	単位数	加算料金	利用者負担額			算定単位
			1割	2割	3割	
運動機能向上加算	225 単位	2,403 円	241 円	481 円	723 円	1月につき
予防通所介護サービス提供体制加算 I 11	72 単位	768 円	77 円	154 円	231 円	1月につき
予防通所介護サービス提供体制加算 I 12	144 単位	1,537 円	154 円	308 円	462 円	1月につき

加算の種類	加算の要件（概要）
選択的サービス複数加算 I	選択的サービス（運動機能向上加算、口腔機能向上加算）を行う時に、複数のサービスを実施した場合（1月につき）
運動機能向上加算	利用者へ個別的な機能訓練等の運動機能向上サービスを行った場合（1月につき）
サービス提供体制加算	介護職員のうち介護福祉士が 50%以上配置されていること
介護職員処遇改善加算 I	1ヶ月利用料金の 5.9%が加算されます。

【合計料金】

要支援1（1割/2割/3割）：2,086 円 / 4,172 円 / 6,258 円

要支援2（1割/2割/3割）：4,019 円 / 8,038 円 / 12,057 円

(3) 第一号通所事業（市基準サービス）の利用料

【基本部分：①通所型サービス1時間30分（独自）】

基本部分	単位数	介護報酬	利用者負担金			算定単位
			1割	2割	3割	
要支援1	1,489 単位	15,903 円	1,590 円	3,180 円	4,770 円	1月につき
要支援2	3,053 単位	32,606 円	3,261 円	6,522 円	9,783 円	

【基本部分：②通所型サービス3時間15分（独自）】

基本部分	単位数	介護報酬	利用者負担金			算定単位
			1割	2割	3割	
要支援1	1,563 単位	16,693 円	1,669 円	3,338 円	5,007 円	1月につき
要支援2	3,205 単位	34,229 円	3,423 円	6,846 円	10,269 円	

【加算】

以下の要件を満たす場合、上記の基本部分に以下の料金が加算されます。

加算項目	単位数	加算料金	利用者負担額			算定単位
			1割	2割	3割	
運動機能向上加算	225 単位	2,403 円	241 円	481 円	723 円	1月につき
介護職員処遇改善加算 I	1ヶ月利用料金の 5.9% が加算されます					

【合計料金】

①1時間30分
要支援1（1割/2割/3割）：1,831 円 / 3,662 円 / 5,493 円
要支援2（1割/2割/3割）：3,502 円 / 7,004 円 / 10,506 円
②3時間15分
要支援1（1割/2割/3割）：1,910 円 / 3,820 円 / 5,730 円
要支援2（1割/2割/3割）：3,664 円 / 7,328 円 / 10,992 円

(4) その他の費用

材料費、作業活動費、その他	実費（自己負担）
---------------	----------

【介護保険給付対象外サービスの利用料】

通常の実施地域を越える交通費	通常の実施地域（市境）より 2km まで	210 円/1 日
	通常の実施地域（市境）より 2km 以上	410 円/1 日
その他日常生活費、行事費	実費	